

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

| | |
|-----------------|--|
| 施設名 | 四日市市知的障害者授産施設 共栄作業所 |
| 所在地 | 四日市市西日野町4070番地1 |
| 指定管理者 | <p>名称 社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会</p> <p>代表者 会長 長谷川 正統</p> <p>住所 四日市市諏訪町2番2号</p> |
| モニタリングの実施方針・方法等 | <p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月提出された業務報告書及び毎月開催の連絡調整会議、必要に応じた随時の実地調査及び指定管理者へのヒヤリング、年度末の事業報告書等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p> |
| 担当部課 (問合せ先) | <p>福祉部障害福祉課</p> <p>TEL：059-354-8171</p> <p>E-mail：syougai Fukushi@city.yokkaichi.mie.jp</p> |

■ モニタリングの総合コメント

共栄作業所の管理運営状況については、知的障害者授産施設として、通所する知的障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進するという施設の設置目的を達成し、社会福祉協議会として利用者への安心、信頼の維持と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

個人情報入りUSBメモリ紛失したことについては、利用者や家族だけでなくメディアを通じて知りえた市民にまで信頼の低下を招きました。再発防止のため提出された業務改善書に基づき情報管理の徹底に努められました。

管理運営については、利用率が76.86%でしたが、利用者に対し、定期的、継続的な通所を働きかけ、おおむね計画どおり運営されました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

独自の取り組みとして、特に生活習慣病などの回復に向けた支援を行い、自立に向けての支援が実施されました。

経費については、おおむね計画どおり執行され、安定した財務状況にありました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、以下のとおり、市の運営方針を指導していきます。

- ・当施設の目的である知的障害者に自活に必要な訓練や職業を提供することで、自立と社会参加を促進するため、更なる対応がなされ、充実した施設運営がされること。
- ・事業の安定した継続と信頼の維持のため、職員の専門性をさらに高め、技術の向上を一層考慮されること。
- ・今後、障害者自立支援法の新体系への移行という課題があり、市と十分協議するとともに、利用者やその保護者の現状とニーズの把握により一層努められること。
- ・ハード面では、障害者の方々が安全に利用できるよう引き続き維持管理に努められること。
- ・個人情報の取扱については、資料及びデータ管理の徹底、パソコン及び周辺機器のセキュリティ対策を引き続き行うこと。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

作業を通して集団の中で働く喜びを知り、適切な支援のもと豊かな生活経験の場を広め、思いやりのある真の人間として温かい心の育成と自立の道をはかるといふ、施設の目的に沿った支援方針に基づき適切に管理運営が行われていました。

施設運営や利用者への対応については、利用者やその保護者から高い信頼を得た中で、公正に運用されていました。

また、指定管理者としての特性を生かし、法人が実施している相談事業やボランティアセンターなど各種サービスや関係団体と有機的な連携を図り、知的障害者授産施設として一定の成果がありました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

制度改正への対応が求められた中で、社会福祉協議会として信頼を維持し、適正かつ柔軟な管理運営が実施されていました。特に、施設を利用している障害者の保護者の方々ときめ細かく連絡を取り、利用者一人ひとりに合わせた支援を行われました。

給食において利用者のリクエストメニューを実施したり、利用者の体調に合わせた提供など実施されていました。

また、様々な場所へ出向き、事業所で行っている「さをり織り」の体験と実演を行い、障害者理解の啓発に努めていました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、当施設の目的を果たすため適切に運営されていました。施設の維持管理についても、法人管理部門でも確認しながら、毎月担当課と連絡調整会議を開催し、課題を共有しました。

また、施設サービス運営委員会を定期的に開催し、意見交換会を行うなどサービスの質の向上に努める姿勢が見られました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

受託金収入や、事業費や人件費など、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や計算書類及び諸帳簿も整理されていました。また、毎日の利用者の日課や年間行事、施設の保守点検等に関する書類もよく整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

日常から施設内を点検し、修繕箇所の早期発見と対応が適切に行われているとともに、避難訓練も火災・地震それぞれ定期的の実施されていました。また、各作業室に利用者の数だけ防災頭巾を備えていたり、非常用食料、防災用品の備蓄もなされ災害時に使用できるよう整備されていました。

防犯対策として来客報知センサーを設置し、不審者侵入の防止に努めていました。

社会性（環境等への配慮）

リサイクル解体作業を授産作業に取り入れ、日常的に環境問題が意識されていました。

また、廃棄物の処分などについては、処分してもらう業者に manifests を提出させるなど法令遵守の徹底がなされていました。

事業収支

経済性

事業収支についてはほぼ当初計画どおりで、適正な範囲内で管理されていました。収入については、ほぼ予定通りであったものの、支出については、臨時職員の欠員があり人件費を抑えることとなりました。また、社会福祉協議会の事情により退職積立金が当初予定していた本俸の約5%から約10%へ倍増されたことにより一般管理費が増えたが、その他についてはおおむね計画どおり執行され、安定した財務状況にありました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について財務諸表等を分析した結果、特に大きな課題や問題は無いと判断しました。社会福祉協議会は公共性が高く財政基盤も含め、非常に安定していると判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

| | | | |
|-------------------|--|----------|---------------|
| 施設名 | 四日市市共栄作業所 | | 所管課:障害福祉課 |
| 所在地 | 四日市市西日野町4070番地1 | | 設置年月: 昭和52年5月 |
| 設置目的 | 知的障害者授産施設として、通所する知的障害者に対し自活に必要な訓練及び職業の提供を行うことにより、自立と社会参加を促進する。 | | |
| 設置の根拠 (法令、条例等) | 知的障害者福祉法、四日市市知的障害者授産施設条例 | | |
| 施設の概要 | 設備の概要 | 敷地面積 (㎡) | 1200.00 |
| | | 延床面積 (㎡) | 603.15 |
| | 作業室、事務室、相談室、医務室、和室、会議室、食堂、厨房、洗濯室等 | | |
| 事業概要 | <p>知的障害者授産事業 (定員37名)</p> <p>(1) 授産活動 【受注作業】 贈答品箱詰め、製品飾り付け、リサイクル解体作業、点字刻印作業 【自主製品作業】 縫製、ぞうり編み、さおり織り作業</p> <p>(2) 生活経験、自立促進活動 ①利用者自治会による一人一役活動 (朝礼係、花壇係等) ②サークル活動 (おやつ作り、ダンス、美術等) ③一日外出 ④社会実習 ⑤一泊社会体験 ⑥工場見学 ⑦職場実習 ⑧地域交流 ⑨ボランティア交流会 ⑩グループホーム ⑪地区社会福祉協議会等市民に対する人権学習の場の提供</p> <p>(3) 保健衛生・健康管理 ①医療相談 ②健康診断 ③身体測定</p> <p>(4) 保護者・地域との連携 個別懇談・年度末懇談、「きょうえいつうしん」の発行</p> | | |

2. 運営状況

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 (事業報告書) | 計画対比 |
|------|------------|-----------------|------|
| 開館日数 | 242日 | 242日 | 計画通り |
| 開館時間 | 8:30~17:00 | 8:30~17:00 | 計画通り |

3. 利用実績

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 (事業報告書) | 計画対比 |
|--------|--------|-----------------|--------|
| 延べ利用者数 | 8,954人 | 6,882人 | 2,072人 |
| 平均利用率 | 平均 | — | 76.86% |

4. 事業収支

(単位:円)

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 (事業報告書) | 計画対比 |
|-------------|------------|-----------------|-------------|
| | | | |
| 指定管理料 | 60,187,000 | 60,187,000 | 0 |
| 利用者給食代 | 2,119,000 | 2,098,400 | △ 20,600 |
| 自主財源 | 2,669,000 | 487,752 | △ 2,181,248 |
| 職員等給食代 | 600,000 | 947,000 | 347,000 |
| 県社協補助金 | 0 | 150,000 | 150,000 |
| 雑収入 | 48,000 | 838,377 | 790,377 |
| 収入計 | 65,623,000 | 64,708,529 | △ 914,471 |
| 人件費 | 53,837,000 | 50,608,121 | △ 3,228,879 |
| 管理費 | 8,940,000 | 10,243,409 | 1,303,409 |
| 消耗品費 | 300,000 | 587,636 | 287,636 |
| 燃料費 | 166,000 | 202,866 | 36,866 |
| 印刷製本費 | 70,000 | 93,450 | 23,450 |
| 光熱水費 | 2,430,000 | 2,012,482 | △ 417,518 |
| 修繕料 | 374,000 | 692,011 | 318,011 |
| 通信運搬費 | 250,000 | 252,045 | 2,045 |
| 広告料 | 0 | 0 | 0 |
| 手数料 | 0 | 0 | 0 |
| 保険料 | 144,790 | 223,770 | 78,980 |
| 委託料 | 679,000 | 1,001,182 | 322,182 |
| 賃借料 | 620,000 | 664,833 | 44,833 |
| その他 | 3,906,210 | 4,513,134 | 606,924 |
| 事業費(ソフト事業等) | 1,348,000 | 1,209,899 | △ 138,101 |
| 一般管理費 | 1,498,000 | 2,647,100 | 1,149,100 |
| | | | |
| 支出計 | 65,623,000 | 64,708,529 | △ 914,471 |
| 収支 | 0 | 0 | 0 |

平成20年度 共栄作業所 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|------|------------|------------|------|------------|----|
| 開館日数 | 242日 | 242日 | 計画通り | 計画通り開館された。 | 適 |
| 開館時間 | 8:30~17:00 | 8:30~17:00 | 計画通り | | |

2. 利用実績

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|--------|--------|--------|---------|--|----|
| 延べ利用者数 | 8,954人 | 6,882人 | △2,072人 | 利用定員37名のところ、4名の欠員が続き、また、利用者について体調不良などで登所できなかったことなどから利用者数の減少につながった。 | 適 |
| 稼働率 | — | 76.86% | — | | |

3. 事業収支

| 項目 | 実施計画 | 実施内容 | 計画対比 | 検証・分析等 | 適否 |
|-------------|------------|------------|------------|--|----|
| 指定管理料 | 60,187,000 | 60,187,000 | 0 | ボランティア、実習生の給食利用により職員等給食代が予算より多くなった。また、支出が少なくすんだため、自主財源の支出が抑えられた。 | 適 |
| 利用者給食代 | 2,119,000 | 2,098,400 | △20,600 | | |
| 自主財源 | 2,669,000 | 487,752 | △2,181,248 | | |
| 職員等給食代 | 600,000 | 947,000 | 347,000 | | |
| 県社協補助金 | 0 | 150,000 | 150,000 | | |
| 雑収入 | 48,000 | 838,377 | 790,377 | | |
| 収入計 | 65,623,000 | 64,708,529 | △914,471 | 〔勤務体制：常勤10人、非常勤3人詳細は仕様書による〕 人員配置については、複数の調理職員の年度途中における退職により、補充ができるまでの間、若干の人員不足が生じたが、業務は、他の職員の応援により支障なく処理できた。 人件費については、人事異動により大きく抑えることができた。 また、退職積立金が予算では、運営費補助金算出方法に準じ本俸の約5%積み立てる計画であったが、年々積立額と必要額の乖離が顕著になってきたことから、財務の健全を確保するために約10%に倍増したことにより一般管理費が増加した。 | 適 |
| 人件費 | 53,837,000 | 50,608,121 | △3,228,879 | | |
| 管理費 | 8,940,000 | 10,243,409 | 1,303,409 | | |
| 消耗品費 | 300,000 | 587,636 | 287,636 | | |
| 燃料費 | 166,000 | 202,866 | 36,866 | | |
| 印刷製本費 | 70,000 | 93,450 | 23,450 | | |
| 光熱水費 | 2,430,000 | 2,012,482 | △417,518 | | |
| 修繕料 | 374,000 | 692,011 | 318,011 | | |
| 通信運搬費 | 250,000 | 252,045 | 2,045 | | |
| 広告料 | 0 | 0 | 0 | | |
| 手数料 | 0 | 0 | 0 | | |
| 保険料 | 144,790 | 223,770 | 78,980 | | |
| 委託料 | 679,000 | 1,001,182 | 322,182 | | |
| 賃借料 | 620,000 | 664,833 | 44,833 | | |
| その他 | 3,906,210 | 4,513,134 | 606,924 | | |
| 事業費（ソフト事業等） | 1,348,000 | 1,209,899 | △138,101 | | |
| 一般管理費 | 1,498,000 | 2,647,100 | 1,149,100 | | |
| 支出計 | 65,623,000 | 64,708,529 | △914,471 | | |
| 収支 | 0 | 0 | 0 | | |

総合コメント

運営については、社会福祉協議会運営であることにより信頼関係を維持し、良好に運営されました。
経費については、人事異動により、大きく人件費を抑えることとなった。これにより自主財源の支出を当初予算より大きく抑えることができた。総合して健全な運営をしていると判断します。

平成20年度 共栄作業所 運営状況 チェックシート①-2

| 項目 | 事業分析 | 適否判断 | |
|----------|--|--|---|
| 利用実績 | <p>開館日数：242日 延べ利用者6,882人(76.86%) 平成20年3月31日現在入所者数34人(定員37人) ※欠員補充については、市内全施設の動向を注視しつつ、政策的に判断しているところがあるため、延べ利用率は高くないが、現在の利用者の出欠状況は8割を越えている。出席率についてももう少し期待したいが、現状については適と判断している。</p> | 適 | |
| 事業 収支 | 収入 | <p>ボランティア、実習生の給食利用により職員等給食代が予算より多くなった。 また、三重県社会福祉協議会よりみえ第三者評価受審料に対する補助金を受けることができたため、予算で予定していたより支出が少なくなつた。このため、自主財源の支出が抑えられた。</p> | 適 |
| | 支出 | <p>おおむね当初計画どおりであったが、退職積立金について当初、運営費補助金算出方法に準じ本俸の約5%積み立てる計画であったが、年々積立額と必要額の乖離が顕著になってきたころから、財務の健全を確保するために約10%に倍増したことにより支出が増加した。 また、電気をこまめに消すなど、職員の意識改革に取り組み、光熱費等の経費削減に努めたことにより支出を抑えることができた。支出全体としてみるとおおむね適正な範囲であると判断する。</p> | 適 |